



2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月14日

上場会社名 株式会社リテールパートナーズ 上場取引所 東
コード番号 8167 URL <https://www.retailpartners.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 康男
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 宇佐川 浩之 TEL 0835-20-2477
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第3四半期の連結業績（2024年3月1日～2024年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|---------|-----|-------|------|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年2月期第3四半期 | 198,891 | 5.9 | 4,527 | △5.9 | 5,432 | △1.4 | 3,497 | △2.5 |
| 2024年2月期第3四半期 | 187,773 | 7.1 | 4,811 | 46.5 | 5,508 | 39.2 | 3,588 | 43.0 |

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 2,842百万円 (△45.9%) 2024年2月期第3四半期 5,258百万円 (168.4%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年2月期第3四半期 | 81.49 | — |
| 2024年2月期第3四半期 | 83.57 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年2月期第3四半期 | 127,959 | 82,540 | 64.5 |
| 2024年2月期 | 126,233 | 80,978 | 64.2 |

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 82,540百万円 2024年2月期 80,978百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年2月期 | — | 12.00 | — | 16.00 | 28.00 |
| 2025年2月期 | — | 14.00 | — | — | — |
| 2025年2月期(予想) | — | — | — | 24.00 | 38.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2024年2月期 期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 記念配当4円00銭 (創業70周年記念配当)

2025年2月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当14円00銭 記念配当10円00銭 (リテールパートナーズ結成10周年記念配当)

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|-----|-------|-----|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 261,800 | 3.8 | 7,100 | 5.3 | 8,200 | 6.1 | 5,200 | 10.2 | 121.10 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 有限会社シード宮崎
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2025年2月期3Q | 46,646,059株 | 2024年2月期 | 46,646,059株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年2月期3Q | 3,720,185株 | 2024年2月期 | 3,726,278株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2025年2月期3Q | 42,922,846株 | 2024年2月期3Q | 42,944,381株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更しました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 5 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 5 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 8 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 9 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) | 10 |
| (企業結合等関係) | 10 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 10 |
| (セグメント情報等の注記) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会活動の正常化に伴う人流の回復や雇用・所得環境の改善などを背景に、景気は緩やかに回復いたしました。しかしながら、原材料価格の高騰、物価の上昇による消費マインドの悪化懸念など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。また、当社グループを取り巻く事業環境においては、業種業態を超えた企業間の競合が激化するなか、少子高齢化、人口減少など人口動態の変化に伴う市場の縮小や人材確保の困難化、物価上昇に伴う店舗運営コストの増加など、様々な問題が懸念されます。

このような状況に対応し、当社グループが持続的な企業価値向上を実現するため、当社は2025年2月期を初年度とする第3次中期経営計画を策定し、収益体質とグループ経営のさらなる強化に向け、組織と経営の改革を推進しております。

[第3次中期経営計画の骨子]

基本方針Ⅰ

既存事業の強化・新ニーズへの対応

地域のお客様に信頼され、愛されるスーパーマーケットブランドと
リテールC Iの確立

戦略① 成長戦略

短期的には既存エリア・サービスの強化に向けて積極的な成長投資を行い、中長期的にはエリア拡大・新たな価値創造のための新規サービスやM&A等による非連続的な成長に取り組んでまいります。

戦略② 競争力の強化

リテールパートナーズならではの商品・サービスをお客様に提供し、魅力的な店舗展開を行うことで競争力の強化を図ります。

戦略③ 収益性の強化

共同調達やPB開発及びオペレーションの効率化等により、営業費用を削減し、売上総利益改善とローコスト運営による生産性の向上を図ります。

基本方針Ⅱ

経営インフラの整備・高度化

社員が楽しく生き生きと働ける環境の構築と
グループ経営・DX促進による収益性・効率性の向上

戦略④ グループ連携の強化

さらなるグループ連携の強化により、グループ各社の経営資源を活用し、グループ全体の企業価値向上を目指します。

戦略⑤ 人的資本経営への取組

長期ビジョンの実現に向け、重要な経営資源である人材への投資を積極的に行ってまいります。

戦略⑥ デジタルトランスフォーメーション(DX)の促進

DX化を進め、お客様との関係性・利便性を強化するとともに、オペレーションの改善を進めてまいります。

基本方針Ⅲ

ステークホルダーとの関係強化

経営ビジョンの浸透と企業価値向上

戦略⑦ ESG経営の推進

当社グループは「地域のお客様の日々の生活を“より”豊かに」するためにESG経営の実践により、地域社会に貢献しともに発展することによって、継続的な成長と企業価値向上に努めてまいります。

戦略⑧ 財務戦略

株主資本コストや株価を意識し、成長投資、生産性向上施策の推進により、ROE 7%以上を目指すとともに、安定的な営業キャッシュ・フローを創出し、適切な資金配分による企業成長に努め、株主還元強化を図ってまいります。

また、当社、株式会社アークス及び株式会社パローホールディングスで結成いたしました「新日本スーパーマーケット同盟」では、商品分科会・業務改革分科会・サステナビリティ分科会・次世代領域開発分科会・マネジメント分科会の5つの分科会にて、商品の共同仕入れ企画の実施、資材の共同調達によるコスト削減のほか、小売業共通の課題に関する検討やノウハウの共有など、様々な取り組みを進めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

| | 前第3四半期 連結累計期間 | 当第3四半期 連結累計期間 | 前年同期比 |
|------------------|------------------|------------------|-------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 営業収益 | 187,773 | 198,891 | + 5.9 |
| 営業利益 | 4,811 | 4,527 | △ 5.9 |
| 経常利益 | 5,508 | 5,432 | △ 1.4 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 3,588 | 3,497 | △ 2.5 |

営業収益は1,988億91百万円（前年同期比5.9%増）となり、営業利益は45億27百万円（前年同期比5.9%減）、経常利益は54億32百万円（前年同期比1.4%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億97百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較においては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。

[スーパーマーケット事業]

| | 前第3四半期 連結累計期間 | 当第3四半期 連結累計期間 | 前年同期比 |
|------|------------------|------------------|-------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 営業収益 | 187,170 | 198,275 | + 5.9 |
| 営業利益 | 5,005 | 4,745 | △ 5.2 |

スーパーマーケット事業におきましては、2023年5月31日をみなし取得日として株式会社ハツトリを取得し、当社グループの連結子会社となったことに加え、当第3四半期連結累計期間において3店舗の新設を行ったことなどにより、営業収益は前年同期比で5.9%伸長し、過去最高を更新いたしました。

一方で、商品及び原材料価格の高騰に伴う仕入高の増加や、物流費の増加などもありましたが、電力料については使用量削減などにより上昇を抑えました。また、人材への投資として賃金の積極的な引上げを行ったほか、お客様の要望に応え、決済手段の多様化及びキャッシュレス決済利用率上昇への対応を行うとともに、店舗等への積極的な投資を行いました。このほか、店舗運営コストの増加に対しては、生産性の向上を図るとともに経費削減対策

を講じ、営業費用の抑制に努めております。

当第3四半期連結累計期間における取り組みとして、Amazonとの協業により、「マルキョウネットスーパー」を立ち上げ、生鮮食品のオンライン販売・配送サービスの提供を開始いたしました。AmazonのWebサイト及びショッピングアプリ上のネットスーパーにて、地産地消にこだわった新鮮な野菜や精肉、魚屋さん自慢のお寿司や手作りお惣菜、スイーツなど約7,000点の商品からご注文いただけます。現在は福岡県福岡市及びその周辺の一部地域を対象エリアとしておりますが、今後、配送エリアの拡大を検討しております。

また、南九州エリアの物流の安定維持及び最適化のため、宮崎県宮崎市において物流センターを取得し、株式会社マルミヤストア、株式会社ハツトリ、株式会社戸村精肉本店の3社が利用する、事業会社の枠を超えた共有の物流拠点として「RPG宮崎物流センター」の稼働を開始いたしました。当社グループの第3次中期経営計画における「戦略④ グループ連携の強化」の取り組みの一つとして、当社グループの収益性及び効率性の向上に寄与することを見込んでおります。

当第3四半期連結累計期間における店舗展開の状況は以下のとおりであります。

| 都道府県 | 当第3四半期連結会計期間末の店舗数 | 当第3四半期連結累計期間における店舗数の増減 |
|------|-------------------|------------------------|
| 広島県 | 5 | — |
| 島根県 | 3 | + 2 |
| 山口県 | 79 | + 1 |
| 福岡県 | 60 | △ 3 |
| 大分県 | 53 | — |
| 熊本県 | 16 | — |
| 佐賀県 | 6 | — |
| 長崎県 | 14 | — |
| 宮崎県 | 35 | — |
| 鹿児島県 | 1 | — |
| 合計 | 272 | — |

| 都道府県 | 当第3四半期連結累計期間における店舗の新設・改装・閉鎖等 | | |
|------|------------------------------|----------|-------------------------|
| 島根県 | 〔新設〕 | 2024年3月 | Yショップ シルクウェイにちはら (津和野町) |
| | 〔新設〕 | 2024年3月 | まごころ市場にちはら店 (津和野町) |
| 山口県 | 〔新設〕 | 2024年3月 | アルク長門店 (長門市) |
| | 〔改装〕 | 2024年4月 | サンマート秋穂店 (山口市) |
| | 〔改装〕 | 2024年6月 | アルク下松店 (下松市) |
| | 〔改装〕 | 2024年7月 | アルク南浜店 (宇部市) |
| 福岡県 | 〔休業〕 | 2024年10月 | マルキョウ東油山店 (福岡市城南区) |
| | 〔閉鎖〕 | 2024年11月 | マルキョウ駿馬店 (大牟田市) |
| | 〔閉鎖〕 | 2024年11月 | マルミヤストア大牟田西店 (大牟田市) |
| 宮崎県 | 〔改装〕 | 2024年6月 | フーデリー高岡店 (宮崎市) |
| | 〔改装〕 | 2024年9月 | マルミヤストア大塚店 (宮崎市) |

| 事業会社 | 当第3四半期連結会計期間末の店舗数 | 当第3四半期連結累計期間における店舗数の増減 |
|------------|-------------------|------------------------|
| (株)丸久 | 91 | + 3 |
| (株)ハツトリー | 6 | — |
| (株)マルミヤストア | 90 | △ 1 |
| (株)戸村精肉本店 | 4 | — |
| (株)マルキョウ | 81 | △ 2 |
| 合 計 | 272 | — |

(注) 1. 「当第3四半期連結累計期間における店舗の新設・改装・閉鎖等」に示す改装店舗は、投資額1億円以上の主要な改装店舗のみを記載しており、その他少額の改装店舗については記載を省略しております。

2. マルキョウ東油山店は、店舗の改装に伴い当第3四半期連結会計期間の末日現在において休業しており、同店舗については「当第3四半期連結会計期間末の店舗数」から除外しております。

以上の結果、スーパーマーケット事業におきましては、営業収益1,982億75百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益47億45百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

[その他事業]

| | 前第3四半期 連結累計期間 | 当第3四半期 連結累計期間 | 前年同期比 |
|------|------------------|------------------|-------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 営業収益 | 709 | 738 | + 4.2 |
| 営業利益 | 110 | 101 | △ 7.8 |

当社グループでは、その他事業として、保険代理業、スポーツクラブ事業、食品製造業等を展開しております。

食品製造業を営んでおります株式会社戸村フーズにおきましては、前第3四半期連結累計期間において、製造工場の機械設備の増設を行い、生産能力の向上と作業の効率化を図りました。同社では、主力商品である「戸村本店焼肉のたれ」の販売も順調に伸長しております。一方、原材料価格の上昇や労務費の増加、設備投資に伴う減価償却費の増加などにより、製造原価が増加傾向で推移いたしました。

以上の結果、その他事業におきましては、営業収益7億38百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益1億1百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

| | 前連結会計年度末 | 当第3四半期 連結会計期間末 | 増減額 |
|-----|----------|-------------------|---------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 総資産 | 126,233 | 127,959 | + 1,726 |
| 負債 | 45,254 | 45,418 | + 164 |
| 純資産 | 80,978 | 82,540 | + 1,562 |

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて17億26百万円増加し、1,279億59百万円となりました。これは主に、現金及び預金、売掛金、商品などが増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて1億64百万円増加し、454億18百万円となりました。これは主に、長期借入金などが減少した一方、買掛金、未払費用などが増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて15億62百万円増加し、825億40百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金などが減少した一方、利益剰余金などが増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点では2024年4月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年2月29日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日) |
|--------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 23,954 | 24,618 |
| 売掛金 | 2,928 | 3,580 |
| 有価証券 | 221 | 300 |
| 商品 | 8,065 | 9,070 |
| 貯蔵品 | 81 | 79 |
| その他 | 2,059 | 1,586 |
| 貸倒引当金 | △3 | △2 |
| 流動資産合計 | 37,306 | 39,234 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 (純額) | 29,175 | 28,872 |
| 土地 | 29,051 | 29,452 |
| 建設仮勘定 | 40 | 262 |
| その他 (純額) | 6,551 | 6,519 |
| 有形固定資産合計 | 64,818 | 65,107 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 840 | 750 |
| その他 | 1,003 | 1,032 |
| 無形固定資産合計 | 1,844 | 1,782 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 11,964 | 11,612 |
| 敷金及び保証金 | 4,545 | 4,491 |
| 繰延税金資産 | 3,750 | 3,866 |
| その他 (純額) | 2,004 | 1,865 |
| 投資その他の資産合計 | 22,264 | 21,835 |
| 固定資産合計 | 88,926 | 88,725 |
| 資産合計 | 126,233 | 127,959 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年2月29日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 14,970 | 17,571 |
| 短期借入金 | 6,000 | 6,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,848 | 1,743 |
| 1年内償還予定の社債 | 500 | — |
| 未払法人税等 | 1,683 | 794 |
| 賞与引当金 | 801 | 435 |
| その他 | 7,765 | 8,524 |
| 流動負債合計 | 33,569 | 35,070 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 6,438 | 5,154 |
| 長期未払金 | 77 | 77 |
| 退職給付に係る負債 | 89 | 89 |
| 役員退職慰労引当金 | 13 | 13 |
| 資産除去債務 | 3,260 | 3,294 |
| その他 | 1,806 | 1,719 |
| 固定負債合計 | 11,685 | 10,348 |
| 負債合計 | 45,254 | 45,418 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 7,218 | 7,218 |
| 資本剰余金 | 19,556 | 19,556 |
| 利益剰余金 | 57,074 | 59,285 |
| 自己株式 | △4,562 | △4,555 |
| 株主資本合計 | 79,286 | 81,504 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,708 | 1,050 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △16 | △14 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,691 | 1,036 |
| 純資産合計 | 80,978 | 82,540 |
| 負債純資産合計 | 126,233 | 127,959 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 181,344 | 191,676 |
| 売上原価 | 137,582 | 146,455 |
| 売上総利益 | 43,762 | 45,220 |
| 営業収入 | 6,429 | 7,215 |
| 営業総利益 | 50,191 | 52,436 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 広告宣伝費及び販売促進費 | 1,107 | 1,102 |
| 従業員給料及び賞与 | 19,222 | 20,529 |
| 賞与引当金繰入額 | 451 | 468 |
| 退職給付費用 | 204 | 190 |
| 水道光熱費 | 3,576 | 3,824 |
| 賃借料 | 3,787 | 3,856 |
| 減価償却費 | 2,956 | 3,025 |
| その他 | 14,073 | 14,910 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 45,379 | 47,909 |
| 営業利益 | 4,811 | 4,527 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 169 | 239 |
| 受取手数料 | 253 | 355 |
| その他 | 345 | 382 |
| 営業外収益合計 | 768 | 977 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 45 | 46 |
| 社債利息 | 3 | 2 |
| 長期前払費用償却 | 4 | 4 |
| その他 | 18 | 19 |
| 営業外費用合計 | 72 | 72 |
| 経常利益 | 5,508 | 5,432 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2 | 1 |
| 投資有価証券売却益 | 10 | 16 |
| 受取保険金 | 2 | 6 |
| 補助金収入 | 55 | — |
| 特別利益合計 | 70 | 25 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 0 | — |
| 固定資産除却損 | 65 | 74 |
| 減損損失 | — | 13 |
| 投資有価証券売却損 | 1 | 4 |
| 災害による損失 | 0 | 9 |
| その他 | — | 2 |
| 特別損失合計 | 67 | 104 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,511 | 5,353 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,993 | 1,797 |
| 法人税等調整額 | △71 | 58 |
| 法人税等合計 | 1,922 | 1,855 |
| 四半期純利益 | 3,588 | 3,497 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 3,588 | 3,497 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 3,588 | 3,497 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,654 | △658 |
| 退職給付に係る調整額 | 15 | 2 |
| その他の包括利益合計 | 1,669 | △655 |
| 四半期包括利益 | 5,258 | 2,842 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 5,258 | 2,842 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社ハツトリを存続会社、同じく当社の連結子会社である有限会社シード宮崎を消滅会社とする吸収合併を行っております。このため、第1四半期連結会計期間より有限会社シード宮崎を連結の範囲から除外しております。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2023年3月22日(みなし取得日2023年5月31日)に行われた株式会社ハツトリとの企業結合において、前第3四半期連結累計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において、取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。なお、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響は軽微であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日) |
|---------|--|--|
| 減価償却費 | 2,977百万円 | 3,051百万円 |
| のれんの償却額 | 81 | 90 |

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|------------------------|---------------------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | スーパー マーケット 事業 | | | | |
| 営業収益 | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 187,162 | 611 | 187,773 | — | 187,773 |
| セグメント間の内部営業収益 又は振替高 | 7 | 97 | 105 | △105 | — |
| 計 | 187,170 | 709 | 187,879 | △105 | 187,773 |
| セグメント利益 | 5,005 | 110 | 5,115 | △303 | 4,811 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業、スポーツクラブ事業、食品製造業等であります。

2. セグメント利益の調整額△303百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社丸久が、株式会社ハツトリの株式を取得し、同社及び同社の連結子会社である有限会社シード宮崎を連結の範囲に含めております。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「スーパーマーケット事業」において3,190百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|------------------------|---------------------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | スーパー マーケット 事業 | | | | |
| 営業収益 | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 198,266 | 624 | 198,891 | — | 198,891 |
| セグメント間の内部営業収益 又は振替高 | 8 | 113 | 121 | △121 | — |
| 計 | 198,275 | 738 | 199,013 | △121 | 198,891 |
| セグメント利益 | 4,745 | 101 | 4,846 | △319 | 4,527 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業、スポーツクラブ事業、食品製造業等であります。

2. セグメント利益の調整額△319百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額によっております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来、「スーパーマーケット事業」と「ディスカウントストア事業」の2つに区分していた報告セグメントを、第1四半期連結会計期間より統合することとし、新たな報告セグメントの名称を「スーパーマーケット事業」といたしました。これは、2025年2月期を初年度とする当社グループの「第3次中期経営計画」の策定にあたり、当社グループの事業展開、経営資源の配分及び経営管理体制の実態等の観点から、報告セグメントの見直しを行った結果、上記のとおり報告セグメントを変更することが適切であると判断したことによるものであります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「スーパーマーケット事業」において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては13百万円であります。